

令和元年度地域未来塾活動一覧

[7市町30教室]

市町名	教室数	教室名	対象学校名	主な実施場所	委託	委託団体名
彦根市	15	いきいき学習教室	東中学校	東中学校	○	東中学校区支援地域協議会
		学力補充教室「楽習ひろば」	西中学校	西中学校	○	西中学校区支援地域協議会
		放課後パックアップ教室	城西小学校	城西小学校	○	西中学校区支援地域協議会
		夏休みきらり教室	城北小学校	城北小学校	○	西中学校区支援地域協議会
		土曜教室 てるみ	中央中学校	中央中学校	○	中央中学校区支援地域協議会
		学び育ちLL教室	中央中学校	中地区公民館	○	中央中学校区支援地域協議会
		夏休み補充教室「水曜ゼミ」	南中学校	南中学校	○	南中学校区支援地域協議会
		がってん教室	城南小学校	城南小学校	○	南中学校区支援地域協議会
		夏休み算数教室	城陽小学校	城陽小学校	○	南中学校区支援地域協議会
		彦根中学び座	彦根中学校	彦根中学校	○	彦根中学校区支援地域協議会
		学力補充教室	鳥居本中学校	鳥居本中学校	○	鳥居本中学校区支援地域協議会
		質問教室	稻枝中学校	稻枝中学校	○	稻枝中学校区支援地域協議会
		かがやき教室	稻枝東小学校	稻枝東小学校	○	稻枝中学校区支援地域協議会
		はえみサマースクール ガッテンタイム	稻枝西小学校	稻枝西小学校	○	稻枝中学校区支援地域協議会
		「ぐんぐんクラブ」 「チャレンジ教室」	稻枝北小学校	稻枝北小学校	○	稻枝中学校区支援地域協議会
日野町	1	ちよこっと学習会	日野中学校	日野中学校		
湖南市	2	3年放課後学習会	甲西中学校	甲西中学校		
		日枝中未来塾～外国籍生徒日本語教室、 3年進路支援、特別支援学級学習会～	日枝中学校	日枝中学校		
米原市	8	山中サマー・スクール 山中ウインター・スクール	伊吹山中学校	伊吹山中学校		
		職業人に学ぶ生き方講話				
		小論文対策講座				
		土曜学習会	河南中学校	河南中学校		
		いつ今教室	大東中学校	大東中学校		
		学力補充教室	柏原小学校	柏原小学校		
		学力補充教室	柏原中学校	柏原中学校		
		米原学習教室(MGK)	米原中学校	米原中学校		
豊郷町	1	豊日中学校地域未来塾	豊日中学校	豊日中学校		
甲良町	1	甲良中学校地域未来塾	甲良中学校	甲良中学校		
多賀町	2	多賀町中学生土曜講座	多賀中学校	多賀町立博物館	○	株式会社 ケイ・エム・ジーコーポレーション
		放課後児童見守り(学びっこタイム)	大滝小学校	大滝小学校		
計	30					

“自分が決める”子どものやる気を 地域があと押し

彦根市	活動名：いきいき学習教室	東中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：24日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：18人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：■放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 16人 その他ボランティア 1人 計 17人			
・学習支援員等の属性：□企業人 □行政職員 ■元教員 ■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

- ・水曜日の放課後や長期休みを利用して、子どもたちが自主的に学習できる場を提供している。地域の人とつながる場をつくる。
- ・基礎的なところでつまずいている子どもには、学習支援ボランティアが寄り添いながら学力をあげる。

■ 特徴的な学習支援内容

学習教科は自由。子どもが決めたことをやり遂げられるような支援を心がける。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

主体は「東中学校区地域学校協働本部」で、学校と相談しながら運営。「自分が決める」という生徒の自主性を尊重する。募集チラシは、保護者ではなく、子どもに宛てたものにする。参加するという意欲がある生徒の参加を受け入れる。個別に学習ファイルを作成し、学習終了後に、子どもが「今日は何の学習をしたか」やボランティアへの連絡やメッセージ等を記入し、ボランティアとの交流に利用している。



【放課後いきいき学習教室で勉強する生徒】

■ 事業の成果

「自分で決める」ことを大切にしているので、子どもたちは主体的にまじめに学習に取り組んでいる。長年継続してきてくださっているボランティアが多いので、個別の子どもへの配慮もあって、参加している生徒の学力も少しずつあがっている。ボランティアと子どもたちとの関係がよく、子どもたちは自分から質問するなど、良い雰囲気の中で学習会ができている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学年があがるにつれ、塾に行く生徒が増え、参加者が減っているのが現状。

先生との連携で、学力や家庭環境など、本当に支援が必要な生徒が参加しやすいような学習会にしていきたい。

報告書記入者（地域コーディネーター）

地域の人材を活用した「楽習ひろば」

彦根市	活動名：学力補充教室「楽習ひろば」	西中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：100日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人（兼務1人） 平均参加人数：7人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：■放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 17人 協働活動推進員 0人 協働活動サポーター 0人 その他ボランティア 0人 計 17人			
・学習支援員等の属性：□企業人 □行政職員 ■元教員 □地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

- ・学力補充を目的とした「楽習ひろば」の開催。放課後の時間帯や夏季休業中の時間を利用し、学習支援員が学習指導を行った。

■ 特徴的な学習支援内容

- ・基礎学力の定着を目指した前期の「楽習ひろば」は、各学年で実施した。
- ・高校受験を意識した後期の「楽習ひろば」は、3年生を対象として実施した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

- ・前期の「楽習ひろば」では、各学年生徒のうち、基礎学力の定着を目指し選抜した。
- ・後期の「楽習ひろば」は、希望者を募って実施した。

■ 事業の成果

- ・生徒の弱点を把握させ、その克服に向けて反復学習をすることにより学力の定着を図った。
- ・一人ひとりの生徒の実態に応じた個別の学習支援を実施した。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・学習支援員の出勤可能な日時を把握する必要があることや連絡調整が大変であった。
- ・来てほしいときに学習支援員が確保できなくて困るときがあった。

■ その他

- ・学校運営協議会を立ち上げたときにどのように進めるかを検討する必要がある。



【 生徒の学習の様子 】

報告書記入者（ 教頭 ）

基礎・基本の定着をねらいとした学習支援

彦根市	活動名：放課後バッックアップ教室	城西小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：31日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：2人 平均参加人数：13人			
・学習形態：■個別の学力補充	■教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：■放課後実施	□土曜日実施	□長期休業日実施	□その他（ ）
・学習支援員等人数：学習支援員 4人 協働活動推進員 0人 協働活動センター 0人 その他ボランティア 2人 計6人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	■元教員	■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他

■ 活動の概要と目的

算数科を中心に、基礎・基本の定着に向け個別指導を中心とした教室を、全学年を対象に各学期に10回程度開催した。

■ 特徴的な学習支援内容

プリントやドリルの内容を基礎・基本を中心とするとともに、個々に応じて選択ができるように用意し、個別指導を中心とした学習支援ができるようにした。



【2年生 放課後バッックアップ教室】

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

下校時の安全確保や保護者の負担の軽減のため、対象を全学年に広げた。

■ 事業の成果

地域の方々に個別に丁寧に指導していただけたことで「分かった！」という思いを強く持つことができた。また、外国にルーツを持つ児童にとっては、母国語を交えた支援ができ、学力の向上および心の安定につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

対象学年を広げたことで、学年に偏りが無いよう、より多くの学習支援員の確保が急務である。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

学力向上をねらいとした学力補充「わかる！できる！夏休みきらり学習」

彦根市	活動名：夏休みきらり学習	城北小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：3日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：4人			
・学習形態：■個別の学力補充	□教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：□放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他（ ）
・学習支援員等人数：学習支援員 4人 地域協働活動推進員（地域コーディネーター） 1人 協働活動センター 0人 その他ボランティア 0人 計5人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	■元教員	■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他

■ 活動の概要と目的

夏季休業中に学力補充教室を開催し、個々の学力向上を図ることを目的としている。

■ 特徴的な学習支援内容

算数科はつまずきが見られた場合自学自習がしにくいと言える教科であることや、前の学年の学習内容に遡って復習することが求められる教科であることから、算数科に限定した支援の機会を設けることとした。また、いわゆる夏休みの宿題をする場とせず、子どものつまずきに対応するためのカリキュラムとした。



【 個別指導を受ける児童 】

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

保護者対象の案内文書では、学力補充が必要と判断される児童向けの事業であることを説明した上で、募集をかけた。また、夏休みの課題をする場ではないことを説明し、本事業の趣旨を理解していただけるよう努めた。

■ 事業の成果

児童からは「分からなかったところが分かってすっきりした！」「夏休みの宿題もがんばる！」という声が聞かれた。教員からは、「普段時間をかけることができなかつた児童にじっくりと教えることができてよかったです」という声が聞かれた。このような体験談から、学力補充に関して一定の効果があったと考えている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

結果的に、学習に関するボランティアを担っていただけた人材は地域住民の元教員ばかりであったことから、人数の確保が難しくなってきていていることを感じている。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

来てみる・やってみる 「土曜教室てみる」

彦根市	活動名：土曜教室 てみる	中央中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：15日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：11人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：□放課後実施 ■土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 3人 協働活動推進員 0人 協働活動支援員 7人 その他ボランティア 5人 計 15人			
・学習支援員等の属性：■企業人 □行政職員 ■元教員 □地域住民 ■大学生 ■NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

子ども達への学習補助はもちろん支援員等との対話を通じて、学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることをねらいとしている。

■ 特徴的な学習支援内容

1対1の指導を基本とし、学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切にして、子ども達への学習の動機付けとなるように、子どものやる気を尊重した学びの場をつくりっている。学習支援員やボランティアとの対話や学習後の交流を楽しみに来る子どもも多い。2時間程度の学習であるが、終了後に学習支援員で子どもの様子の交流や活動の振り返りを行うことが、子どもへの関わりの質の向上につながっている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

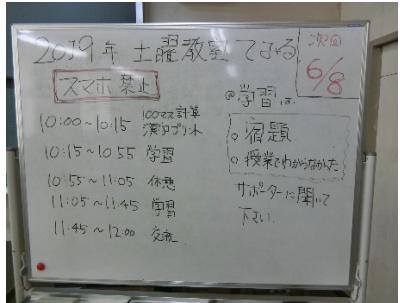
全校生徒に案内を配布し、希望を募っている。部活動の時間と重なることが多いが、生徒が主体的に選択できるように部活動顧問、地域コーディネーターともに配慮している。

■ 事業の成果

個別指導により、つまずきを的確に把握しながら学習支援を行い、基礎学力の定着を図ることができている。また、週末に学習に集中し充実した時間を過ごすことができることから、家庭学習の定着にもつながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員やボランティア支援員の人材の確保、および教室の企画・運営ができるコーディネーター確保が必須である。



【学習のメニューと流れ】

報告書記入者（ 教頭 ）

子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所

彦根市	活動名：学び育ちしし教室	中央中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：40日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：10人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：□放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 ■その他（平日夜実施）			
・学習支援員等人数：学習支援員 15人 協働活動推進員 0人 協働活動サポーター 0人 その他ボランティア 3人 計 18人			
・学習支援員等の属性：■企業人 □行政職員 □元教員 ■地域住民 ■大学生 ■NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

毎週月曜日の夜に地域の公民館にて開催。学習補助に加え、学びの押し付けではなく、自主的な学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることもねらいとしている。

■ 特徴的な学習支援内容

マンツーマン対応で学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切にし、子どものやる気を尊重した学びの場をつくりっている。そのため固定した時間割は定めず、その日の子どものコンディションに応じて活動している。年に数回、ハロウィンパーティーやクリスマス会、スポーツ交流、卒業お祝い会なども実施し、幅広い経験ができる機会を設けている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

中央中学校の土曜教室と同時期に全校生徒に案内を配布。また、活動状況はフェイスブックページを設け発信していることから、他学区の子どもたちの参加もある。保護者との連絡やボランティア間の連携として、公式LINEを設けたり、LINEグループを使った情報交換をしている。

■ 事業の成果

子ども個人のモチベーションにあわせた学習を進めることで主体的に取り組む習慣ができてきている。また不登校気味の子どもも参加し、気分転換や自分を見つめる時間になっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

ボランティアの確保や数年ごとの教科書変更に対応した教材整備の経費と教材の保管場所確保が課題である。



【 教室の様子 】

報告書記入者（ 地域コーディネーター ）

夏休み補充教室＆放課後学習「水曜ゼミ」

彦根市	活動名：夏休み補充教室、「水曜ゼミ」	南中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：25日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人（兼務1人） 平均参加人数：10人			
・学習形態：■個別の学力補充	□教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：■放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他（ ）
・学習支援員等人数：学習支援員 7人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計7人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	■元教員	■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他

■ 活動の概要と目的

- 夏休み補充教室（7～8月）は、学年ごとに4回開催し、夏休みや2学期以降の学習を充実させるために、夏休みの宿題を先生に質問しながら学習を進めている。
- 放課後学習「水曜ゼミ」（9～2月）は、3年生を対象に進路実現に向けて基礎的な学力を身につけるために、プリントを使って学習している。

■ 特徴的な学習支援内容

学習支援員は元教員や地域の大学生、保護者が中心となり、個別の学習支援にあたっている。水曜ゼミの学習教材としては、県立入試問題集や国語・数学・英語の基本的な内容のプリントを準備して、個に応じた学習に取り組めるようにしている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

夏休みの補充教室は全員を対象に参加を募っている。また、水曜ゼミは受験を控えた3年生で、特に基礎学力の強化が必要と思われる生徒を対象に実施している。コーディネーターが活動を紹介したボランティア便りを作成し、学習支援員の確保にあたっている。

■ 事業の成果

家庭では一人で学習できない生徒の学習の場となり、学習支援員に積極的に質問するなど意欲的に取り組んでいる。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

参加生徒に対して学習支援員の人数が少ない日もあり、安定した人材確保が必要である。校区にある大学と連携して学習支援員が確保できる体制にしていきたい。



【 水曜ゼミ 】

報告書記入者（ 教頭 ）

「わかった」「できた」子どもの笑顔のために

彦根市	活動名：がってん教室	城南小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：3日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：130人			
・学習形態：■個別の学力補充	□教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：□放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他（ ）
・学習支援員等人数：学習支援員 6人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計6人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	□元教員	□地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他

■ 活動の概要と目的

- ・夏季休業中の午前3日間を設定し、1学期の学習内容を中心とした学力補充を行う。
- ・夏季休業中に取り組むとよい家庭学習などの相談にのり、2学期のスタート時に自信や学習意欲をもてるようとする。

■ 特徴的な学習支援内容

夏季休業中の課題や児童自身が付けたいと考える力にあった学習など、個々に選択できるようにする。また、学年によっては、演習を中心とする「どんどんコース」、参加児童全員で話し合ったり教え合ったりできる「じっくりコース」など、学び方を選ぶことができる。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

開催要項は全家庭に配布するとともに、目的や取組方等を担任から児童へ説明する。強制はしないが、1学期末の個別懇談会で、個別に参加を促すこともある。

■ 事業の成果

学習に自信がもてなかつたり、夏季休業中、どのように学習や課題を進めたらよいか不安に思つたりする児童が、気軽に相談できる場となっていた。小集団での学習や個別に質問ができる環境で、安心して学びに向かうことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

参加児童の実態や人数によっては、十分対応できない日もあった。支援員の増員と開催日数、時間の検討をしていく必要がある。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

つなげよう 子どもを育む 地域の力 ~地域の力で学びを深める~

彦根市	活動名 : 夏休み算数教室	城陽小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 2日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 1人(兼務1人) 平均参加人数 : 30人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 2人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計2人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

夏季休業中の2日間(7月22日～23日)、いずれも8:45から10:15までの実施とした。

算数科を中心に、個別の学力補充を目的とした。

■ 特徴的な学習支援内容

保護者や担任が、個別指導が望ましいと考える児童の参加を中心としたため、少人数の指導体制を仕組むことができた。つまずきや戸惑いには、スマールステップによる支援を行うことができた。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

保護者あてに希望者を募る、または、個別指導が望ましいと考えられる児童に参加を促す声かけをすることで参加を呼びかけた。学区内の滋賀県立大学の学生にもゲストティーチャーを呼びかけ、支援を得ることができた。

■ 事業の成果

基礎、基本の積み上げが不十分な児童にとって、個別対応の支援は心強く、また反復や発展の演習問題を示されることで、自身のつまずきに対して意欲的に向き合うことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

できるだけ毎年継続して活動が進められるように、支援いただける方の確保に努めたい。また、新たな活動を計画するために、様々な教科や領域の地域ボランティアを発掘していきたい。



【 夏休み算数教室 】

報告書記入者(教頭)

学びを育む学習会

彦根市	活動名 : 彦根中学び座	彦根中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 80日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 0人 平均参加人数 : 12人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 10人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計10人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

毎日の授業だけでは十分に学力が定着しない生徒も多く、基礎学力の定着のためには、学力補充が必要となる。しかし、一人では家庭学習に取り組めなかったり、何を学習してよいのかわからなかったりする生徒も多い実情があるため、地域の方々や大学生等の協力を得て、一人ひとりの学力に応じた学習を個別の対応で進め、学習習慣と学力の定着を図る。

■ 特徴的な学習支援内容

* 定期テスト前質問教室 * 夏季休業中の補充学習および質問教室

全学年で、生徒の自主学習に対する支援を、学習支援員と教員が数名で学習支援を行っている。

* 3年生の放課後学習会

10月から毎週木曜日を基本にして、生徒が持参する学習教材のわからない問題や、数学と英語の基礎定着プリントに対する支援を、学習支援員と教員が数名程度で行っている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

* 学習支援員を確保するため、募集ポスターとチラシを製作し、近隣の大学に配布した。

■ 事業の成果

* 家庭学習に取り組めない生徒が学習支援員に積極的に質問するなど、短時間ではあるが学習にまじめに意欲的に取り組めていた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

* 学校の立地条件から、学生の学習支援員が集まらず、確保が難しい現状にある。

* 予算が減額されたため、支援の回数が制限され十分な機会が得られていない。

■ その他

* 活動状況は、本校HPにて掲載している。<https://www.fureai-cloud.jp/hikone-jh-hikone/>



【 3年学習会 】

報告書記入者(教頭)

地域と学校を結ぶ鳥居本地域未来塾

彦根市	活動名：学力補充教室	鳥居本中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：13日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：5人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：□放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 5人 協働活動推進員 0人 協働活動センター 0人 その他ボランティア 1人 計6人			
・学習支援員等の属性：□企業人 □行政職員 ■元教員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

生徒の学力の補充を目的として、長期休業中に、教員と一緒に実施している。

■ 特徴的な学習支援内容

○基礎的な学力の補充

長期休業中に出される英語、数学、国語、理科、社会の課題（ワーク）の基礎的な問題やわからない問題を中心に、個別に教えている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

○参加者の募集については、学力の補充が必要な生徒を教員が選んでいる。

○実施にあたっては、個別に教えてもらえるようにしている。

■ 事業の成果

○生徒は、わかりやすく教えてもらっていると好評である。

○地域の方も、中学生に学習を教えることで充実感がある。

○学習を通して、地域の方と中学生が交流できる。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

○学習支援をしてくださる地域の方が、限定されている。支援をしてくださる方をどのように集めるかが、大きな課題である。

○今年度は、学習支援に新たに4人来ていただけた。

○平日の放課後等に実施できないかを検討中である。



【 夏休み補充教室 】

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

本当にわかったと生徒が感じる学習サポート

彦根市	活動名：質問教室	稻枝中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合→学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：31日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：2人（兼務1人） 平均参加人数：10人			
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ）			
・教室のもち方：■放課後実施 ■土曜日実施 ■長期休業日実施 ■その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 5人 地域協働活動推進員（地域コーディネーター） 1人 協働活動センター 0人 その他ボランティア 0人 計6人			
・学習支援員等の属性：□企業人 □行政職員 ■元教員 ■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要と目的

・目的 自ら学ぼうと意欲のある生徒への学習支援を行い、学力向上を図る

■ 特徴的な学習支援内容

・夏休み→1・2・3年生を対象に補習的学習に重点を置き、自学自習の支援を行う。

・12・1・2・3月→3年生を対象に高校入試に向けた学習支援

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

・生徒の募集→夏休み質問教室は、全学年の生徒および保護者に、質問教室の趣旨を説明して募集

3年生対象の高校入試に向けた質問教室は、希望者はもとより、学習塾に通っていない生徒や教師から見て受験対策を必要とする生徒に勧める。

■ 事業の成果

・参加者が、質問教室に「来てよかったです、わかった」と感じている。

・個別に丁寧に指導してもらい「わかった」という思いを持ち、自信を深めることにつながった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・中学校の地域未来塾の講師の発掘が大変である。（特に数学と英語）

・学校と地域コーディネーターの打合せが重要となる。現職の先生にも部活と同じように手当を支給するか、塾の先生を派遣してもらうことも考えないとボランティアに頼るだけでは、継続は難しいと考える。

報告書記入者（地域コーディネーター）

子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動

彦根市	活動名：かがやき教室	稻枝東小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
年間開催日数：14日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：4人			
・学習形態：■個別の学力補充	□教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：■放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他（ ）
・学習支援員等人数：学習支援員 4人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計4人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	■元教員	□地域住民
		□大学生	□NPO等関係者
			□その他

■活動の概要と目的

2、3年生の児童を対象に、月に2～3回程度の学力補充の時間を計画した。

■特徴的な学習支援内容

児童がつまずきを感じている学習内容を選び、個別指導の形式で学習支援をした。



■参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学期ごとに希望者を応募した。

参加する児童の数を絞り、個に応じて充実した指導ができるようにした。

参加者が多数の場合は、教員で協議をして決定した。

■事業の成果

漢字や計算など基礎的な力を高めることで学ぶ意欲を向上させることができた。

【 2年生の様子 】

■事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

参加者が多数のため学期での交代制をとった。その結果、継続して参加することができない児童もいた。

実施回数や指導体制を含めて、運営方法を考えていきたい。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

わくわく はえみ学習

彦根市	活動名：はえみサマースクール ガッテンタイム	稻枝西小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
年間開催日数：9日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：0人 平均参加人数：17人			
・学習形態：■個別の学力補充	■教材を使った一斉学習	□その他（ ）	
・教室のもち方：□放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	■その他（特別日課で生み出した時間）
・学習支援員等人数：学習支援員 4人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計4人			
・学習支援員等の属性：□企業人	□行政職員	■元教員	□地域住民
		□大学生	□NPO等関係者
			□その他

■活動の概要と目的

・学習内容の理解に課題を要する子どもの学力補充と、より確かな学力の定着を目指す。

■特徴的な学習支援内容

・課業中は、全国学力学習状況調査の結果を受け、弱点と思われる学習内容に特化した。長期休業中は、思考力や表現力を問う課題にも力を入れた。

■参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

・児童数が少なく、校区が広いため、一部の児童が参加する形態を取ると下校が成立しない。長期休業日は、保護者の送迎が可能な希望者を対象とした。課業中は、特別日課で生み出した1時間を、4～6年生の3～6校時に重なりがないように割り振り、担任・学習支援員・校内教員（教頭または教務）の3人体制で指導に当たれるようとした。可能時数については、本部事業のコーディネーターが一括して調整している。



■事業の成果

・担任プラス教員と支援員の配置により、通常の3倍で学習を行う。分らない時にタ イムリーな支援が受けられ、学習は楽しいと感じる、分かる喜びを感じる子どもが 増えた。学習への意欲の高まりも見られた。

【はえみサマースクール】

■事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・一部の子どもを対象とすることは、下校に課題があり難しい。今後はコース別に分けることで、個々の学力アップを図りたい。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

わかる楽しさを味わい、学ぶ意欲を高める「ぐんぐんクラブ」「チャレンジ教室」

彦根市	活動名 : 「ぐんぐんクラブ」「チャレンジ教室」	稻枝北小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 55 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1人 平均参加人数 : 5人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 6人 計 6人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

少人数の個別指導のような学習で、「わかる」楽しさを味わい、自信をつけ学習への意欲を高められるようにする。

■ 特徴的な学習支援内容

「ぐんぐんクラブ」：課業日の月曜日（1～3年）水曜日（4～6年）、学期ごとに参加児童を募集し、定員を8名程度までとして学習支援ボランティアによる指導を行う。算数を中心に担任が個に応じた課題（プリント等）を準備する。

「チャレンジ教室」：夏季休業中の3日間、担任と学習支援ボランティアとで個別指導を行う。担任が準備するプリントや夏季休業中の課題等に取り組む。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

どちらも全校児童に募集をし、希望者の中から個別指導を要する児童が参加できるようにする。また、個別指導が有効と思われる児童へは事前に保護者に呼びかけ、参加を促している。

■ 事業の成果

学習に苦手意識のある児童にとって、わからないことをその場ですぐに聞いたり、やり直したりできることで、「わかった」という実感をもちやすく、意欲が高まり、学習の成果も上がっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

個別指導が不要と思われるが参加を希望するケースが特に下学年では多く見られるため、今後は個別指導が必要な児童にのみ個別に声をかける方法も検討したい。



【 チャレンジ教室 】

報告書記入者 (教頭)

気軽に学ぼう、気軽に訪ねよう、ちょこっと学習会。

日野町	活動名 : ちょこっと学習会	日野中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 13 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1人 平均参加人数 : 6人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 8人 協働活動推進員 1人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計 8人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

1回の学習会に1～3名の大学生の学習支援員を配置し、多人数に対応できるようにした。基本的には、個別学習支援の形を取り、学習支援員は各自が行う学習に寄り添い、質問を受けたことに対応してもらう、解き方のアドバイスを示してもらうなどの支援をお願いした。この学習会の大きな目的としては、一人では学習に向き合えない生徒や、日頃は質問などがしにくい生徒にとって学びの場となることを目的としている。

■ 特徴的な学習支援内容

夏季休業中の集中学力補充と、1、2年生で行われた学力補充の支援を行った。また、9月からは、部活動のない日や定期テスト前を意識した日程調整を行い、より多くの生徒が参加しやすい期日になるように心掛けた。また、支援員を本校卒業の大学生にお願いすることで、生徒にとってより身近で親しみやすい存在になっていたと考える。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

参加者の募集については、全校生徒が使用する昇降口に、月ごとに実施日を掲示した。また、朝の会や帰りの会を利用して、担任により、期日の連絡と積極的な参加を促すようもらつた。

■ 事業の成果

今年度の事業への生徒の参加状況をみると、昨年度よりも多くなっていた。また、昨年度は、参加者が固定していた傾向にあつたが、本年度は多くの生徒が参加できていたようである。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

本年度は、本事業を担当している教員の教え子が支援員として多く協力してくれたが、毎年このような形で実施することは困難であると考える。支援員を学校単位で確保するのは、大変な難しいことである。そこで、行政の単位で支援員の募集や登録を進めていただき、それらを上手く活用させていただく方向にしていくことが、本事業を継続させていくために、必要なことと考えている。

報告書記入者 (教頭)

あせらず・あわてず・あきらめず ~「今」を大切に~

湖南市	活動名 : 3年放課後学習会	甲西中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 32日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 2人 平均参加人数 : 15人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 () ・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 () ・学習支援員等人数 : 学習支援員 2人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計2人 ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

- ・全国学力学習状況調査や学校教育活動アンケートの結果からも、家庭学習がほとんどできていないことがあきらかになり、生徒たちの家庭での学習環境もあるが、学習方法がわからないとの要因もあきらかになった。そこで、地域の方や卒業生などに学習ボランティアとして支援していただき、自主的、主体的な学習習慣を身につけて学力向上を図るため、進路実現のため9月から放課後週2回1時間実施した。



【生徒同士の教え合い】

■ 特徴的な学習支援内容

- ・3年生を中心に自分で教材を持ってきてもいいが、毎回テーマ学習として5教科での単元を絞って提示を行い、プリントなどを使用しての学習に取り組む。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

- ・担任や教科担当から声かけをしたり、友だち同士で説明したりしての参加。

■ 事業の成果

- ・生徒同士の教え合う場面が多く見られた。
- ・学習方法などアドバイスを受けられる場ともなっていた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・「わかりたい」が「できる」になるに変わるような場の設定などの工夫が必要である。
- ・学力に課題やしんどさのある生徒への参加を促す配慮ある声かけを行う。

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員・教頭)

未来に羽ばたく子どもたちをサポートして

~日枝中未来塾~外国籍生徒日本語教室、3年進路支援、特別支援学級学習会

湖南市	活動名 : 日枝中未来塾 ~外国籍生徒日本語教室、3年進路支援、特別支援学級学習会~	日枝中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 25日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 9人(兼務4人) 平均参加人数 : 8人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 () ・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 () ・学習支援員等人数 : 学習支援員 4人 協働活動推進員 4人 協働活動サポートー 1人 その他ボランティア 0人 計9人 ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

学力保障や学校生活の安定のために、支援が必要な生徒に対して、学校支援員や地域のボランティアの方の支援のもと学習会を実施する。



【日本語教室にて】

■ 特徴的な学習支援内容

外国籍生徒が全校の1割を超える本校では、ポケトーク等を活用して、子どもたちの学習支援を行い、生活の安定と進路支援を行っている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

基本的に希望参加であるが、三者懇談会や通訳を介し、生徒の状況を伝え参加を促している。また、長期休暇中に実施することで、学習リズムの維持を図っている。

■ 事業の成果

丁寧で、個別的な支援による取組の結果、生徒の学習意欲の向上や、進路に対する前向きな姿勢が見られている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

数年来の取組によって、一定の参加者があり学習会として成果をあげつつある。ただ、長期休業中に定期的に実施していくためには、指導者の安定的な確保と、学習会運営の財政的な基盤整備が不可欠である。

■ その他

ポケトーク等のコミュニケーションツールやタブレット等の機器の充実も、教室活性化の一助となることは間違いない。

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員、教頭)

山中(やまちゅう) サマースクール、ウィンタースクール

米原市	活動名：山中サマー・スクール 山中ウィンター・スクール	伊吹山中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：46人			
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・学習支援員等人数：学習支援員 2人 協働活動推進員 4人 協働活動サポートー 2人 その他ボランティア 0人 計8人			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

長期休業を利用して、生徒一人ひとりが、自分の習熟度に応じて学習を進めることで、基礎的・基本的な知識を習得するためだけでなく、授業でわからなかった内容や課題にじっくり取り組んだり、高校入試を見据えて入試問題に取り組んだりする学習会を開催した。



【 山中ウィンター・スクール 】

■ 特徴的な学習支援内容

本校では、全校生徒が一同に集まって給食を食べるランチルームがある。このランチルームを会場に学習会を行うことにより、複数の学習支援員が生徒の要望に応じて支援できる体制をとることができるようにした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

自分の習熟度に応じて学習を進めることができるような形態をとっているため、参加を希望した生徒全員が参加している。
学習内容や課題等は、各生徒が自分で予定を立てて準備し、目標を決めて学習に臨むようにしている。
部活動に配慮して、長期休業中の午後に実施した。

■ 事業の成果

長期休業中の学習会であるため、生徒にとっては充実した学習習慣を継続させることができた。また、自分の習熟度に応じて各教科の学習を進めることができたため、目標が立てやすく、十分に理解できるまで学習に取り組むことができた。さらに、毎回、できるだけ多くの学習支援員を招聘することで、多様な生徒の学習支援が可能になった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

今年度は、希望する生徒を対象にし、自分の習熟度に応じて学習を進める形態で実施したが、より多くの生徒が参加できるよう開催日数を増やす方向で検討していきたいと考えている。また、特に理解が不十分な生徒が、基礎的・基本的な知識を習得できるようにするために、学習支援員の確保に努め、個別の学習指導・支援ができる体制づくりを進めていく必要がある。

■ その他

特になし

報告書記入者（ 教頭 ）

地域の職業人に学ぶ「生き方講話」

米原市	活動名：職業人に学ぶ 生き方講話	伊吹山中学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
年間開催日数：1日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：60人			
<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態：□個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 ■その他（キャリア教育） ・教室のもち方：□放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 ■その他（総合的な学習の時間） ・学習支援員等人数：学習支援員 0人 協働活動推進員 1人 協働活動センター 0人 その他ボランティア 0人 計1人 ・学習支援員等の属性：■企業人 □行政職員 □元教員 □地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他 			

■ 活動の概要と目的

本校2年生の生徒を対象に、本校地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）である伊吹電業株式会社取締役 安田金次氏により、働くことの意義や勤労について学ぶ「生き方講話」学習会を実施した。



【 生き方講話 】

■ 特徴的な学習支援内容

本校のキャリア教育の年間計画に基づき、地域の企業を経営され、働いておられる方を講師に招き、働くことの意義や勤労について学ぶ機会をもった。講話の中では、働くことの意義に加え、社会の価値観の変化の中で適応していくための工夫、また、挨拶やマナーの大切さ、基本的な教養を身につけるために学ぶことや創意工夫しながら連続的に思考を深めていくことの大切さ等について講話していただいた。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

当講話は、職場体験学習の事前学習に位置づけ、職場体験学習に行く際の心構えや挨拶・マナーの大切さ等を学ぶ機会とした。幼い頃から顔馴染みである地域の方に、企業人としての厳しい表情で、働くことの意義や働く上で大切にしなければならないことを教えていただくことで、より身近に話を聞くことができる機会をもつことができた。

■ 事業の成果

職場体験学習の事前学習に位置付けたことで、職場体験学習に行く際の心構えや挨拶・マナーの大切さ等を学ぶ機会となった。また、幼い頃から顔馴染みである地域の方に教えていただくことで、より身近に話を聞くことができる機会となった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

今後は、多様な職種の方に講師を務めていただくことで、生徒のさまざまな興味・関心に対応していくようにしていきたい。その際、より少人数で講話を聞くことができるようになり、生徒が疑問や不安に思っていること、講話の中でもっと掘り下げて聞きたいことが聞きやすくなるように配慮していくことも考えている。

■ その他

特になし

報告書記入者（教頭）

小論文対策講座

米原市	活動名 : 小論文対策講座	伊吹山中学校	学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : □有 ■無
年間開催日数 : 5日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 0人 平均参加人数 : 16人			
・学習形態 : □個別の学力補充	■教材を使った一斉学習	■その他(個別の添削学習)	
・教室のもち方 : □放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他()
・学習支援員等人数 : 学習支援員 1人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計1人			
・学習支援員等の属性 : □企業人	□行政職員	■元教員	■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他

■ 活動の概要と目的

本校3年生の生徒を対象に、本県県立高等学校特色選抜や推薦選抜での入学検査で課される小論文に対応するため、地域住民であり、元高等学校教員でもある講師を招聘し、「小論文対策講座」を実施した。

■ 特徴的な学習支援内容

生徒は、本県県立高等学校これまでの小論文の問題を課題にして、本番さながらに挑戦するとともに、学習支援員を務める講師が一人ひとりの小論文を添削することで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるように支援内容を工夫した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

自分の希望する進路に応じて、希望した生徒全員が参加している。

講師が一人ひとりの小論文を添削することで、生徒一人ひとりが自分の小論文を見直し、課題を改善できるようにした。

■ 事業の成果

生徒一人ひとりが複数の小論文の課題に取り組み、また、講師により個別に添削を行うことで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるようになり、充実した講座となった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

小論文の添削に時間がかかり、勤務時間外にかけて添削していかなければならぬ課題が生じたため、来年度以降改善する必要がある。

■ その他

特になし



【 小論文対策講座 】

報告書記入者 (教頭)

学校と地域の力により、子どもの学びを支えていく

米原市	活動名 : 米原学習教室(MGK)	米原中学校	学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
年間開催日数 : 63日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)数 : 2人 平均参加人数 : 15人			
・学習形態 : □個別の学力補充	■教材を使った一斉学習	□その他()	
・教室のもち方 : ■放課後実施	□土曜日実施	■長期休業日実施	□その他()
・学習支援員等人数 : 学習支援員 0人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 5人 計5人			
・学習支援員等の属性 : □企業人	□行政職員	■元教員	□地域住民 □大学生 □NPO等関係者 ■その他

■ 活動の概要と目的

長期休業中に、低学力の生徒を中心に学習支援を行った。また、3年生は2学期から放課後の時間を活用し、数学と英語の講座を実施した。更には、入試の小論文対策として、1月に3回講座を開催した。

■ 特徴的な学習支援内容

夏季休業中の米原学習教室では、1、2年生はそれぞれの生徒が課題を持ち寄り、教員と地域ボランティアが個別支援を行った。3年生においては、同様に個別支援を行うとともに数学と英語の講座を開催した。また、1月には入試の小論文対策として、国語の教員とボランティアがその対応にあたった。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学年通信で募集をよびかけ、課題の大きい生徒には直接声をかけた。

■ 事業の成果

1人では課題等に取り組めない生徒が課題をやりきり提出することができた。3年生においては、学期を追うごとに授業が落ち着いた雰囲気で受けられるようになり、それぞれ力をつけることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

地域に教員OBがおられ、非常に助かっている。教員OBの講座に本校教員が入ることにより、教員の学びにもつながった。

■ その他

特になし。

報告書記入者 (教頭)

笑顔いっぱい・学びいっぱい活動～自ら学ぼうとする生徒への学習機会の場の設定～

米原市	活動名 : 土曜学習会	河南中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 16 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 0 人（兼務 0 人） 平均参加人数 : 10.9 人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 3 人 協働活動推進員 0 人 協働活動サポートー 0 人 その他ボランティア 0 人 計 3 人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

月 2 回土曜日の午前中に開催し、自主的に学ぼうとする生徒のためにその場を提供して、子どもの学びの基礎を育てる。

■ 特徴的な学習支援内容

本校卒業生の大学生を講師に招き、自主的に学習を進める上でわからないところをすぐに質問できるようにした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

保護者宛には土曜学習会の開講日を事前に知らせて、生徒の都合のつく時間に参加できるようにした。部活動練習後に参加する生徒も多くいた。

■ 事業の成果

家庭では集中できず家庭学習が進まない生徒も、土曜学習会に参加して、頑張っている生徒に感化されて集中して学習に取り組めることができた。また、わからないところをすぐに、講師の大学生に質問することができ、理解を深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

講師の大学生の都合もあり、開催日を決定することに苦慮した。定期テスト前には多くの生徒が参加することから、今後も学習する場の提供は必要と強く感じた。

■ その他

土曜学習会を開催する日の前夜には保護者あてにメール配信をして周知した。



【 土曜学習会の様子 】

報告書記入者 (校長)

大東中生に「学ぶ環境」と「自ら学ぶ場」を

米原市	活動名 : いつ今教室	大東中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 21 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 4 人（兼務 0 人） 平均参加人数 : 約 25 人			
・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学力補充教室)			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 0 人 協働活動推進員 1 人 協働活動サポートー 1 人 その他ボランティア 12 人 計 14 人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

現在行っている教育活動に加え、生徒に新たな「学ぶ環境と自ら学ぶ場」を提供し、着実に努力させることで子どもたちが自らの「成長」を実感するとともに、学習習慣を定着させる。また、生徒、保護者、教職員に地域住民を加えて学校教育目標中の「頭を鍛えよ」の実現に向けた取り組みとする。さらに教員の働き方改革にも資する取り組みとする。

■ 特徴的な学習支援内容

コーディネーターの紹介等による地域の方々を講師に迎えて、定期テスト前の放課後や長期休業中に教室を開講する。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学校で参加者募集のチラシを配り、できるだけ多くの生徒への参加を呼びかける。

■ 事業の成果

保護者対象の学校アンケートには、教室の実施に関して肯定的に捉えている方が多く、次年度の継続を望んでおられる。
令和元年度の参加者（1月 27 日現在）…延べ人数約 550 名

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

ボランティア（指導講師）の確保、実施日数の増加にむけた調整等

■ その他

報告書記入者 (教頭)

夏休みにしっかり学力をつけよう！

米原市	活動名 : 学力補充教室	柏原小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 8日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター) 数 : 2人(兼務2人) 平均参加人数 : 15人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 4人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計4人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

概要 : 夏季休業中に希望者を募り、学校の教室を使って学力補充教室を行う。

目的 : 低学力の児童の基礎的な学力の向上・定着。

自宅では学習に取り組むことが難しい児童への学習時間の確保。

発展的な課題に取り組む意欲のある児童への支援。



■ 特徴的な学習支援内容

夏季休業中の課題に取り組ませて、質問に答えたり、困っている児童に指導したりするなどの支援をした。

担任が用意した学習プリントなどにも取り組ませた。発展的な問題については考え方のヒントを与えるなどの支援を行った。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

夏季休業前に文書で学力補充教室について保護者に知らせた。

担任から個別の保護者や児童に参加を呼びかけるなどもした。

【それぞれの課題に取り組む子ども達】

■ 事業の成果

自宅ではなかなか学習に取り組めない子どもも、この時間には他の子どもと一緒に学習に取り組め、夏季休業中の課題を進めることもできた。

一人では解決するのが難しい発展的な課題にも個別の支援があることで粘り強く取り組むことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

指導者と指導時間の確保

報告書記入者 (教頭)

受験に向けてのラストスパート！！

米原市	活動名 : 学力補充教室	柏原中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 2日 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター) 数 : 2人(兼務2人) 平均参加人数 : 13人			
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他()			
・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 1人 協働活動推進員 0人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 2人 計3人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

概要 : 冬季休業中に希望者を募り、学校の教室を使って学力補充教室を行う。

目的 : 3年生を対象として、高校入試に向けての学習支援を行う。

■ 特徴的な学習支援内容

高校入試を控えた3年生が各自で準備した課題に取り組む中で、支援員が個々の学習の様子を観察しながら、適宜支援を行った。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

冬季休業前に文書で、生徒及び保護者に開催の案内を行った。

自宅での学習が難しい生徒には、学期末懇談会の中で個別に声掛けをして、参加を促した。

■ 事業の成果

3年間の総復習ができる最後の長期休業ということで、生徒も真剣に学習に取り組み、力をつけることができた。

つまずいたり疑問を感じたりする内容をその場で解決できるため、途中で投げ出すことなく集中力を持続して学習に取り組むことができた。また、受験に向けて頑張る仲間の姿が刺激となり、学習意欲が高まった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

今年度は冬季休業中に4時間実施したが、もっと早い時期から時間数も拡大して実施していくとよい。

教科学習に対する指導だけでなく、小論文の指導等についても検討ていきたい。

報告書記入者 (校長)

小グループを利用したサポート学習～全ての子どもたちの学びを深めるために～

豊郷町	活動名 : 豊日中学校地域未来塾	豊日中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 17 日	地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1人	平均参加人数 : 10 人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 9 人 協働活動推進員 0 人 協働活動センター 0 人 その他ボランティア 0 人 計 9 人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

・大学生や教員OBなど地域住民の協力を得て、放課後や長期休業中に学習を深めたい全ての子どもに学習支援を実施し、学年ごとに以下に挙げることをめざした。

3年：進路実現に向けて、基礎・基本的な内容を重点的に学習することによって、基礎学力の定着を図る。

英語科の発展的な学習として、英文を暗唱しスピーチする技能を高め、コンテストに挑戦する。

2年：1学期の学習内容の定着と学力向上を図る。

夏休みの宿題を仕上げることと、確認テスト対策を行い、学習の達成感を味わう。

1年：夏休みに指名制の補習、希望制の質問教室を実施。学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。



【学力補充教室】

■ 特徴的な学習支援内容

・これまでの補充学習に加え、退職教員による英語科の発展的な学習のサポートも行った。

英語によるスピーチ技能の向上に向け個別指導を受けることで自信を付け、コンテストに出席し県大会で入賞することができた。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

・バッヂリスタディ教室（町隣保館主催の通年学力補充教室）担当者とも連携を図りながら学習支援員を募集し、教員と協働で学習支援を行っている。町ぐるみで子どもの学びをサポートする環境の醸成に努めている。

■ 事業の成果

・先輩にあたる大学生から気軽に学習や進路についてのアドバイスを受けることができ、積極的に学習するとともに身近なモデルとして捉え、将来や進路を考える契機にもなった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・地域連携担当者である教頭がコーディネートする形での実施になっているため、地域学校協働活動推進員を配置し、地域学校協働本部を組織し、その中の活動として運営されるようになると素晴らしい。

報告書記入者 (教頭)

学力向上を目指す放課後学習会 学生チューター招聘事業

甲良町	活動名 : 甲良中学校地域未来塾	甲良中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 50 日	地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 人 (兼務 人)	平均参加人数 : 30 人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 12 人 協働活動推進員 0 人 協働活動センター 0 人 その他ボランティア 0 人 計 0 人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

中学3年生の2学期以降、進学・受験に向けて学力の定着を図るために放課後の時間を利用して、地域の学生を中心とした支援員の協力の下、学力向上のための学習支援を実施。今年度で、3年目となった。

■ 特徴的な学習支援内容

生徒は、本人の希望で参加し、毎回20名程度の参加があった。支援員の学生は3~6名の参加が得られ、できる限り少人数での学習に取り組んだ。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

3年目となり、学生支援員は12名と増えた。自分が辞めても次の支援員を紹介してくれるなど、学生が学生を紹介してくれる形ができ、支援員の充実を図ることができた。

■ 事業の成果

家庭でなかなか学習に取り組めない生徒の中には、学生支援員が来るなどを楽しみに放課後学習会に参加するものもいた。また、意欲的に学習に取り組む生徒からの質問で学生支援員にとっても良い刺激となっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習会に是非とも参加してほしい生徒にどのようにアプローチし、参加を促していくか、放課後学習会を少しでも有効に活用し、低学力の克服を目指したい。



【放課後学習会の様子】

報告書記入者 (教頭)

中学校・提携塾・博物館が連携して、中学生の学力向上を図る 土曜講座（サタスタ）

多賀町	活動名 : 土曜講座（サタスタ）	多賀中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 18 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1人 平均参加人数 : 38 人			
・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・教室のもち方 : <input type="checkbox"/> 放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 4人 協働活動推進員 1人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 0人 計5人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

中学生の学力伸長を目的に、中学校と連携をして、希望を募り開講している。

年間 18 日間、土曜日の午前中に、町立博物館を会場として開講している。

■ 特徴的な学習支援内容

国語・数学・英語の3教科の学習を、学年別に 50 分間ずつ実施している。

提携塾に講師派遣を依頼し、中学校の年間計画に沿った学習をすすめている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

中学校・提携塾・博物館と調整して開講日を決め、学びやすい講座とした。

宿題を伴う学習を行い、家庭学習とタイアップした効果的な学びの場とした。

■ 事業の成果

経済的に塾に行けない子どもへの学習機会となり、保護者から大変喜ばれている。

学校と連携した指導と効果的な個別支援により、学習に自信を付けた子も多い。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

個別支援の充実を図るために、ボランティアの参加拡大を図る必要がある。奨学金受給者・大学生以外にもボランティアを広く呼びかけ、参加を募りたい。



【土曜講座風景（1年生）】

報告書記入者（教育専門員）

学びも遊びも充実した学びっこタイム（放課後見守り）

多賀町	活動名 : 放課後児童見守り (学びっこタイム)	大滝小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
年間開催日数 : 60 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1人 平均参加人数 : 15 人			
・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (宿題プリント、音読、計算カード)			
・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・学習支援員等人数 : 学習支援員 2人 協働活動推進員 1人 協働活動サポートー 0人 その他ボランティア 10人 計13人			
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業人 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

低学年児童の下校時の安全確保、学習時間の確保、地域住民とのふれあいを目的に、大滝小学校と連携をして、年間約 60 日間、毎週木曜日・金曜日に実施している。

■ 特徴的な学習支援内容

木曜日は宿題のあと、みんな遊びとして、地元産の木材（端材）を使って工作やゲーム、昔遊び等を、金曜日はパソコン、英語、地域サークル等によるカロム、パネルシアター、読み聞かせ（本に関するゲーム含む）など遊びを組み込んだ内容を毎月計画の上実施している。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

参加児童は 1・2 年生全員。ボランティアは隨時募集し、ローテーションにより様々な活動ができるように工夫している。また、児童には月間予定を事前に知らせ、活動に興味を持たせるようにしている。

■ 事業の成果

児童は「今日はどんなことするの？」など実施を毎回楽しみに参加しており、保護者も事業の継続を希望されている。ボランティアの方は、子どもたちと学ぶ活動・遊ぶ活動を通して楽しい時間を一緒に過ごし、「子どもたちから元気がもらえる」など良い感想を多く持たれ、欠席することなく予定通り参加されている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

事業内容の充実を図るために、ボランティアの参加拡大を図る必要がある。地域住民やサークル等にも広く募集していく。



【子育てサークルの「パネルシアター」】

報告書記入者（地域コーディネーター）